作品について

この作品集には、阿賀北ロマン賞の平成二〇年度から二二年度までの、大賞、優秀賞を、挿絵とともに掲載しました。各年度の作品募集テーマ、受賞作品、作者（受賞者）、挿絵作者をご紹介します。

平成二〇年度　テーマ…水

一般の部（高校生以上）受賞作品

大　賞　ひろくんの宝もの……いうら　なおこ
　挿絵……菅　野　由貴子

優秀賞　阿賀野川幻想……海　渡　夕　姫
　挿絵……海　渡　夕　姫

優秀賞　きらきら川のものがたり……もり　いずみ
　挿絵……菅　野　由貴子

平成二一年度　テーマ…花

一般の部（高校生以上）受賞作品

大　賞　ばあちゃんの花絵……海　渡　夕　姫
　挿絵……海　渡　夕　姫

優秀賞　カフェ　ウィッチ……篠　原　まさみ
　挿絵……菅　野　由貴子

優秀賞　萌の球根……モモツ　モモコ
挿絵……モモツ　モモコ
中学生の部受賞作品
大　賞　カラスの探しもの……石　井　まゆ佳
挿絵……菅　野　由貴子
平成二二年度　テーマ…祭り
一般の部（高校生以上）受賞作品
大　賞　瓢湖に残る白鳥……歩　　里
挿絵……菅　野　由貴子
優秀賞　ハナ 幸せを咲かせる金魚……後　藤　夏　実
挿絵……菅　野　由貴子
中学生の部受賞作品
大　賞　夏の思い出……小　林　史　緒
挿絵……菅　野　由貴子
表紙及び裏表紙絵……菅　野　由貴子

菅野由貴子さんのプロフィール

絵本作家、神奈川県生まれ、敬和学園大学国際文化学科卒業。銅版画制作の他、絵本や挿絵を多く手がける。ダウン症の人を中心とした、アトリエ・エレマン・プレザンのスタッフとしても活動。一九九七年より東京、新潟で、個展、グループ展を多数開催。現在、阿賀北口マン賞の創作童話・児童文学部門の審査員を努める。

文学の心をつれて、
阿賀北を
訪ねてみてください

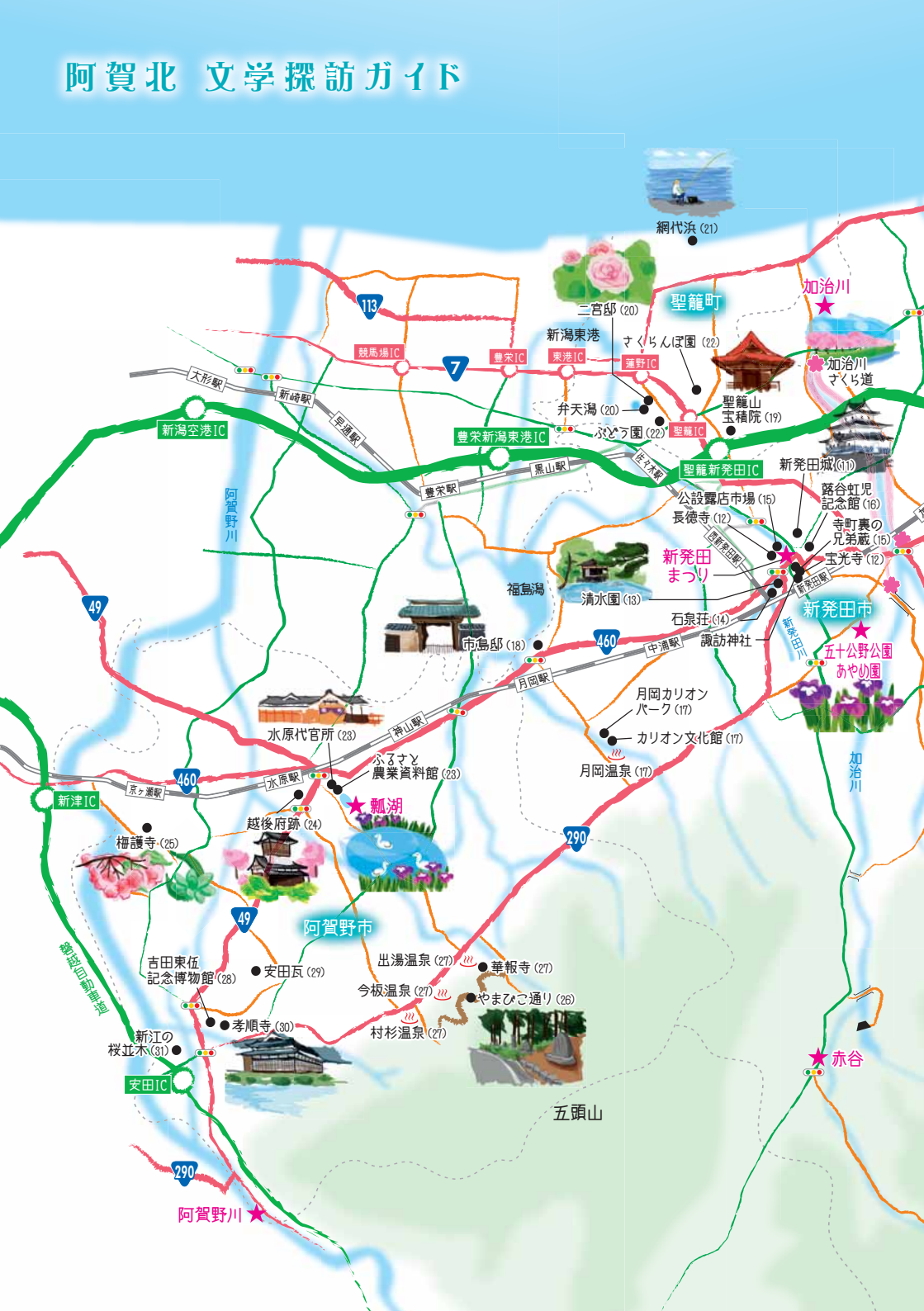
● の場所については、うしろのページでご紹介しています。

★ 作品の舞台

ここでご紹介するほかにも、阿賀北には魅力あふれる名所がたくさんあります。詳しくは、各市町観光協会のホームページをご覧ください。

■新発田市観光協会：http://www.shibata-info.jp
■阿賀野市観光協会：http://www.agano-spot.com
■胎内市観光協会：http://www.tainai.info
■聖籠町観光協会：http://www.van-rai.net/seiro-kanko/

阿賀北 文学探訪ガイド


網代浜 (21)
二宮邸 (20)
聖籠町
加治川
新潟東港
さくらんぼ園 (22)
加治川さくら道
競馬場IC
豊栄IC
東港IC
蓮野IC
聖籠IC
弁天潟 (20)
聖籠山宝積院 (19)
ぶどう園 (22)
新潟空港IC
豊栄新潟東港IC
聖籠新発田IC
新発田城 (11)
公設露店市場 (15)
踏谷虹児記念館 (16)
長徳寺 (12)
寺町裏の兄弟蔵 (15)
宝光寺 (12)
新発田まつり
清水園 (13)
福島潟
石泉荘 (14)
諏訪神社
新発田市
五十公野公園あやめ園
市島邸 (18)
水原代官所 (23)
月岡カリオンパーク (17)
カリオン文化館 (17)
月岡温泉 (17)
ふるさと農業資料館 (23)
新津IC
越後府跡 (24)
瓢湖
栴檀寺 (25)
阿賀野市
吉田東伍記念博物館 (28)
安田瓦 (29)
出湯温泉 (27)
華報寺 (27)
今板温泉 (27)
やまびこ通り (26)
村杉温泉 (27)
孝順寺 (30)
新江の桜並木 (31)
安田IC
五頭山
赤谷
阿賀野川
阿賀野川
加治川
113
7
49
460
290
大形駅
新崎駅
早通駅
黒山駅
豊栄駅
東新発田駅
新発田駅
中浦駅
月岡駅
神山駅
水原駅
京ヶ瀬駅

1. 地本のミズバショウ

本来高山性のミズバショウが海岸から2km、標高8mの場所に約1万7千株群生する珍しいもので、県の天然記念物に指定されています。この一帯には、弘法大師の伝説にちなむ“どっこん水”と呼ばれる胎内川の伏流水の湧出が、ところどころに見られます。このミズバショウ群落も豊富な“どっこん水”がもたらす湿地帯にあります。
（開花時期：3月下旬～ 4月上旬）

所在地 胎内市地本
問合先 0254-43-6111（胎内市商工観光課）

2. 乙宝寺

天平8年（736）の婆羅門僧正と行基上人による開基と伝えられる古刹です。杉の古木が並ぶ広い境内には、国の重要文化財の三重塔をはじめ、県指定重要文化財弁天堂、八所神社、観音堂、仁王門など多くの古建築が落ち着いたたたずまいを見せています。「きのとまんじゅう」が門前の名物です。

所在地 胎内市乙
問合先 0254-46-2016

3. 黒川石油公園

「日本書記」にも登場する日本最古の油田があった場所です。明治6年、英国人医師シンクルトンにより手掘りでの採油法が伝えられると、数多くの井戸が掘られました。園内の「シンクルトン記念館」では、当時の貴重な資料を展示し、彼の功績をたたえています。毎年7月には伝統儀式「胎内市燃水祭」が開催されます。

所在地 胎内市下館
問合先 0254-47-3260（シンクルトン記念館）

4. 樽ヶ橋

巨岩によって胎内川の流れが狭められた景勝地です。赤いアーチの美しい橋を渡ると越後胎内観音が出迎えます。この像は昭和42年の羽越水害の被災者の冥福と国土の安全を祈念して建立されたもので、青銅製としては日本一の高さです。家族で楽しめる樽ヶ橋遊園やクアハウス、学びの施設「黒川郷土文化伝習館」などがあります。

所在地 胎内市下赤谷
問合先 0254-43-6111（胎内市商工観光課）

5. 胎内平周辺

胎内平は、全国植樹祭、全国野鳥保護の集いの会場となった広々とした丘陵地です。毎年8月には「胎内星まつり」が開催され、全国から天文ファンが集まります。周辺には、「胎内自然天文館」、「胎内昆虫の家」、「クレーストーン博士の館」などの学びの施設や、ホテル、スキー場、フラワーパークなどがあり、四季を通じて楽しめます。

所在地 胎内市胎内平
問合先 0254-43-6111（胎内市商工観光課）

6. 奥胎内ヒュッテ

迫り来る山々のなかで、ブナの原生林に囲まれて静かにたたずむ山の宿です。飯豊連峰への入口にあたりますが、本格的な登山を目指す人のほかにも、渓流でのフライフィッシィング、ブナ林でのバードウォッチングなどを目的に訪れる人も大勢います。アカショウビンなどの珍しい鳥が棲息する手つかずの自然を体験できます。

所在地 胎内市下荒沢
問合先 0254-48-0161

熊野若宮神社

7. 宿場町 中条

胎内市中条地区は、米沢街道と羽州街道が交わる宿場町として栄えました。熊野若宮神社からはじまる本町通りの、江戸、明治期に建てられた寺、料亭、土蔵などがその面影を残しています。近隣には、会津八一ゆかりの太總寺、中世に地域を支配した中条氏ゆかりの大輪寺などもあり、文化、歴史ロマンの香りがただよいます。

所在地 胎内市
問合先 0254-43-6111（胎内市商工観光課）

8. 江上館跡

中世に地域を支配した武士団である中条氏にまつわる国指定の史跡「奥山荘城館遺跡」のひとつである江上館の、土塁、門、宿直所、板倉、井戸などを復元したものです。隣接する「奥山荘歴史館」では、多くの出土品を展示しています。館内の壁に貼られた土塁の剥ぎとりの大きさは、中条氏の強大さを物語ります。

所在地 胎内市あかね町
問合先 0254-44-7737（奥山荘歴史館）

9. 櫛形山脈

胎内市と新発田市にまたがる全長13.5kmの日本最小の山脈で、日帰りで縦走できる身近な山です。峰から見下ろす阿賀北に広がる田園と日本海の大パノラマは壮観です。国の天然記念物に指定される大峰山の橡平桜樹林（40種、1000本の山桜の群生）のほか、多くの野草、野鳥が、訪れる人を迎えます。

所在地 胎内市、新発田市
問合先 0254-43-6111（胎内市商工観光課）
0254-22-3101（新発田市観光振興課）

10. 菅谷不動尊

菅谷不動尊の通称でしられる菅谷寺（かんこくじ）は鎌倉時代の開基と伝えられる古刹で、日本三不動の一つに数えられます。細かな彫刻のほどこされた山門をはじめ、本堂、薬師堂、弁天堂などいずれも歴史ある建物が山林を背景に静かにたたずみます。毎年2月3日には、菅谷不動尊千日参り・節分会が行われます。

所在地 新発田市菅谷
問合先 0254-26-6789（新発田市観光協会）

11. 新発田城

初代新発田藩主溝口秀勝が築城に着手し、3代宣直の代に完成した名城です。創建時には櫓11棟、門5棟からなる壮大さを誇りました。新発田藩時代から残るものは、本丸表門と二の丸隅櫓、堀と石垣の一部で、3匹の鯱を配する三階櫓と辰巳櫓が平成16年に復元されています。春には、城址公園の桜が、名城に華やかさを添えます。

所在地 新発田市大手町
問合先 0254-22-9534（新発田市教育委員会）

12. 城下町 新発田

宝光寺は、12代続いた藩主溝口家の菩提寺で、境内には徳川家光の寄進と伝わる枝垂れ桜の古木があります。また、長徳寺の堀部安兵衛手植えの老松（2世）、280年あまり続く新発田まつり、五代藩主重元が広めたとされる石州流茶道、和菓子など、10万石の城下町新発田には、歴史を語りかける事物が数多くあります。

所在地 新発田市
問合先 0254-22-3101（新発田市観光振興課）

13. 清水園

溝口家の下屋敷として元禄期に完成し、当時は清水谷御殿ともよばれました。幕府庭方の縣宗知を招き造られた庭は、荒廃しかけたものを、昭和20年代に柏崎出身で銀閣寺の庭園修復などを手がけた田中泰阿弥が修復しました。池と一体となり景観に溶け込むように建物や石が配されてた池泉回遊式の名園で、国の名勝に指定されています。

所在地 新発田市大栄町
問合先 0254-22-2659

14. 石泉荘

明治期に料亭として建てられたもので、庭の中央を新発田川が静かに流れます。川の左岸に茶室、右岸に離れ座敷がある簡素で落ち着いた佇まいの建築は国の登録有形文化財となっています。新発田川が物資の輸送にも使われていたため、昭和の初期までは、ここを筏流しなどが通りました。（見学には予約が必要です）

所在地 新発田市諏訪町
問合先 0254-22-3383

15. 新発田川

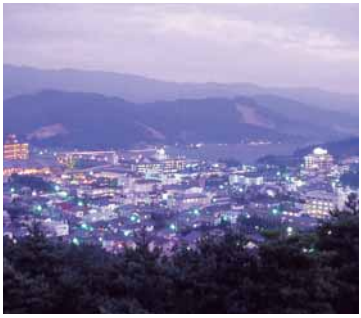
新発田川は、藩によって掘られたもので、城下町新発田の成り立ちに欠くことのできない存在でした。生活用水として使われたほか、清水園の池、新発田城の堀も、川の水が引かれました。現在も川に沿って歩くと、川が運ぶ物資の出し入れをした蔵、“かわど”と呼ばれる洗い場、川の上に設けられた公設露天市場などを見ることができます。

所在地 新発田市
問合先 0254-22-3101（新発田市観光振興課）

16. 蕗谷虹児記念館

大正から昭和にかけて、画家、イラストレーター、詩人などとして、多彩な才能で多くの作品を残した郷土のアーティスト蕗谷虹児の作品や愛用の品を展示しています。虹児は、シャープな線とあざやかな色彩で女性を抒情的に描きました。幼くしてなくした母をしのんで描き綴ったとされる詩画の代表作「花嫁人形」は、童謡にもなり多くの人々に愛されています。

所在地 新発田市中央町
問合先 0254-23-1013



17. 月岡温泉

大正初期の油田開発が目的の掘削で湧き出た温泉で、泉質は、美肌効能があるとされる含硫黄ナトリウム塩化物泉、“美人の湯”として知られています、下駄履きで散策できる石畳の街路、恋人の聖地百選に認定されているカリオンパーク、日本刀の名刀にまつわる展示を行うカリオン文化館、手造りガラス工房など、周辺には独特の見どころがあります。

所在地 新発田市月岡温泉
問合先 0254-32-3151

18. 市島邸

江戸期に蒲原平野を開発した豪農市島家の邸宅だったものです。現在のものは明治初期の建築ですが、多くが県の指定有形文化財となっています。邸宅を囲む回遊式庭園には、池、水路が配され、この上を母屋と本座敷をつなぐ150mの廊下が渡ります。200年以上前の江戸雛、掛け軸、漆器などが状態よく保存、展示されています。

所在地 新発田市天王
問合先 0254-32-2555

19. 聖籠山宝積院

名鷹「緑丸」の伝説が伝わる古刹です。若者に託された手紙を都に届け帰ったところで力尽きた緑丸の菩提をとむらうために高僧がお堂に籠もったことが、聖籠山の由来です。境内の観音堂と仁王門には、天平9年(737)に泰澄大徳が、緑丸の供養のために彫ったとされる十一面観世音菩薩と二王尊がそれぞれ祀られています。

所在地 聖籠町諏訪山
問合先 0254-27-7773

20. 二宮邸～弁天潟

聖籠町地域の大地主として、町の歴史に大きく関わってきた二宮家の邸宅です。かつては屋敷の一部であった弁天潟を見下ろす日本庭園、250本が咲き誇るバラ園、土蔵5棟が並ぶさまは一見の価値があります。普段は非公開ですが、春のバラ、秋の紅葉の時期に公開されます。弁天潟は、いつでも楽しめる公園で、白鳥、桜が有名です。

所在地 聖籠町蓮野
問合先 0254-27-2111（聖籠町観光協会）

21. 網代浜海岸

港と砂浜と水平線がさわやかな景色をつくり、セイリング、ウインドサーフィン、海水浴などさまざまな海のスポーツの場となっています。釣り場として解放されている防波堤は、休日ごとに家族連れなどが大勢訪れます。浜辺には水鳥たちが群れあそび、沖を漁船や貨物船が行き交います。網代浜は海のにぎわいの海岸です。

所在地 聖籠町網代浜
問合先 0254-27-2111（聖籠町観光協会）

さくらんぼ

22. 果樹の里 聖籠

聖籠町は、果樹の里です。春には、さくらんぼ、桃、なしの木が、枝いっぱいに花を咲かせます。満開の花畑には、みつばちなど春を待ちかねた虫たちが飛び交います。町に広く分布する砂丘地の地質が果樹栽培に適していたことなどから、いちご（1～6月）にはじまり、さくらんぼ（6月～7月上旬）、桃（7月下旬～9月）、ぶどう・いちじく（8月～10月）、なし（8月下旬～11月）、西洋なし（11月下旬～12月）と一年中おいしい果物などを生産しています。もぎとりが楽しめる観光農園もあります。

ぶどう畑

所在地 聖籠町
問合先 0254-27-2111（聖籠町観光協会）

桃の花畑

なしの花畑

23. 水原代官所

幕府直轄領だった水原に置かれた代官所を、資料に基づき忠実に復元しており、中に入ると当時にタイムスリップしたかのようです。代官所は、生産力豊かな土地の年貢徴収や、新田開発などをねらいに設けられ、戊辰戦争に至るまで置かれました。隣りの「ふるさと農業歴史資料館」では、地域の成り立ちを伝える貴重な資料を展示しています。

所在地 阿賀野市外城町
問合先 0250-63-1722

24. 越後府跡（天朝山公園）

戊辰戦争後、明治新政府により一時期越後府が置かれた新潟県政発祥の場所で、もとは地域の豪農市島家が難民救済事業として、ここに別邸宅を築いたことにはじまります。小高く盛り土がされたところに、桜の大木が並びます。現在は、越後府当時の櫓が復元され、天朝山公園として市民に親しまれています。

所在地 阿賀野市中央町
問合先 0250-62-2510（阿賀野市商工観光課）

---

25. 梅護寺

親鸞が村に半年ほど滞在したときに弟子となった左吾助の開基と伝えられる古刹です。阿賀野川に近い水田に囲まれた集落の中にひっそりと佇みます。親鸞等身御影などの宝物を所蔵するほか、じゅずの房ように花柄の長い花をつける「珠数（じゅず）掛け桜」と、一つの花に8つの実がなる「八房の梅」、親鸞にまつわる越後七不思議の伝説のうちの2つがあります。

所在地 阿賀野市小島
問合先 0250-62-2510（阿賀野市商工観光課）

---

26. やまびこ通り

五頭山の山裾をとおる約5kmの林道に、250点の句碑、歌碑が並びます。佐藤念腹や石塚友二といった文人、俳人を輩出した阿賀野市笹神地区に、県内外の俳人、歌人に発表の場を設けようとつくられました。相馬御風、書家の横山蒼鳳らの作品をはじめ、詩情あふれる碑が立ち並びます。見晴らしもよく、蒲原平野が一望できます。

所在地 阿賀野市出湯～村杉
問合先 0250-62-2510（阿賀野市商工観光課）

---

27. 五頭温泉郷

五頭山の麓には、出湯、今板、村杉の3つの温泉があります。いずれも自然に囲まれた湯治場の趣を残す静かで落ちついた温泉地で、それぞれに弘法大師や戦国武将にまつわる開湯の由来を持ち、長い歴史を誇ります。健康効果の高いとされるラジウムを含む泉質の14軒の旅館のほか、名刹華報寺境内の共同浴場など6つの外湯（足湯、共同浴場）があります。

所在地 阿賀野市出湯、今板、村杉
問合先 0250-61-3003（五頭温泉郷旅館共同組合）

28. 吉田東伍記念博物館

「大日本地名辞書」を著した日本地理学における偉人吉田東伍の生誕の地である阿賀野市安田地区につくられた、彼の業績を伝える博物館です。街並みの中にとけ込んだ外観の比較的小さな建物ですが、専門博物館として充実した展示内容を誇る一方、"開かれた博物館"として、地域学習などに気軽に利用できる場を提供しています。

所在地 阿賀野市保田
問合先 0250-68-1200

29. 安田瓦

安田瓦の歴史は古く、18世紀前半までさかのぼります。土地の土を使った味わい深い鉄色の瓦は、3代はもつといわれる耐久性と、雪国に不可欠の耐寒性にすぐれます。瓦工場の煙突が並ぶ道路は瓦ロードと呼ばれ、瓦アートや瓦を材料に使った塀、バス停などが訪れる人の目を楽しませます。会津鶴ヶ城を雨雪から守る瓦も、安田瓦です。

所在地 阿賀野市保田
問合先 0250-62-2510（阿賀野市商工観光課）

30. 孝順寺

嘉元2年（1304）の開基と伝えられる長い歴史を誇りますが、所在は幾たびかの変遷を経ました。現在の本堂と境内は、豪農斉藤家の旧邸を寺が買い取ったもので、書院造り風の建築と池泉回遊式の庭園が一体化して落ち着いた趣を見せます。親鸞にまつわる越後七不思議の1つの「三度栗」の伝説があります。

所在地 阿賀野市保田
問合先 0250-68-2434

31. 新江の桜並木

新江用水路の歴史は享保19年（1734）にはじまり、幾たびかの改修を経て、現在は約3,000haの農地に用水を送っています。水路の両岸には、約4.6kmにわたり昭和55年に旧安田町の町制20周年を記念して町民の手で植えられ550本の桜並木が続き、両岸からのびる花枝が水路を覆います。

所在地 阿賀野市渡場～小浮
問合先 0250-62-2510（阿賀野市商工観光課）

ふるさとの水・花・祭り

阿賀北ロマン賞　創作童話・児童文学作品集

平成二四年一月五日発行

発行　新潟県新発田地域振興局
新発田市豊町三丁目三番二号
電話　〇二五四（二二）八六一二

印刷　島津印刷株式会社
新発田市富塚一四一九
電話　〇二五四（二七）二一〇一